



基本領域 脳神経外科専門研修

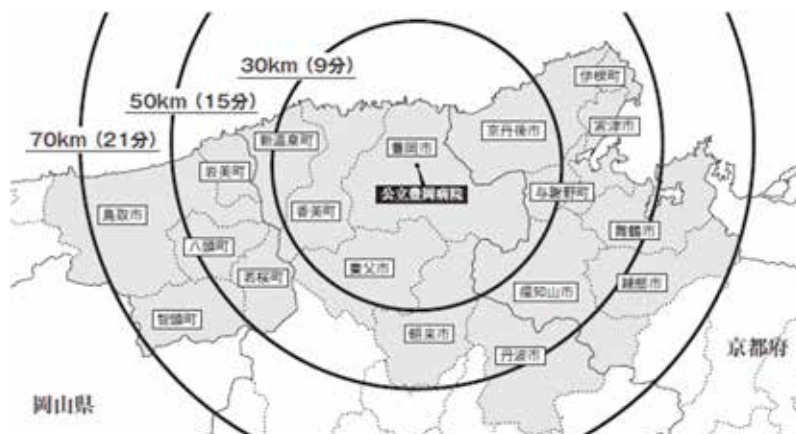
連携

- 脳神経外科専門研修 神戸大学医学部プログラム

1. 脳神経外科の理念・特色

原則的に脳神経外科疾患すべてに対応が可能で、脳外科医が初期治療から直接対応できる体制を24時間にわたってとっています。特に、救急集中治療科と密接な連携をとり、下記の広域にわたる地域医療に貢献するよう心掛けています。

また、より高い質的診療レベルの脳外科治療をめざして、最新の機器を用いた出来る限りの低侵襲治療、手術を行うように努力しています。



(病院 HP ドクターヘリ情報提供より)

2. 目標・プログラム

公立豊岡病院において脳神経外科を研修する専攻医には下記にあげる脳神経外科疾患の知識や診断・治療技術を習得することを目指します。

急性期および慢性期脳血管障害

破裂型動脈瘤に対する動脈瘤直達術、脳梗塞急性期のrt-PA静注療法を積極的に行っています。また近年のEBMに基づいた慢性期脳血管疾患(未破裂型動脈瘤、頸動脈狭窄、脳内主幹動脈閉塞、もやもや病など)に対する予防的治療、すなわち未破裂型動脈瘤直達術、頸動脈血栓内膜剥離術、EC-ICバイパス術も積極的に行っています。

動脈瘤に対する血管内動脈瘤塞栓術、頸部頸動脈狭窄に対するステント留置、急性期脳梗塞に対する経皮的血栓回収術など、近年適応疾患の拡大の著しい血管内治療にも対応しており、脳血管内治療専門医による治療を行っています。

脳内出血に合併した水頭症に対して、神経内視鏡を用いた脳室開窓術および脳内血腫除去を行っており、特に高齢者の脳内出血症例において以前より格段の機能予後の向上が見込まれる低侵襲治療として期待されています。

脳腫瘍に対する集学的治療

脳腫瘍、特に悪性脳腫瘍に対しては開頭摘出手術後の補充療法が重要ですが、当科では化学療法および放射線治療医による放射線治療を含めた集学的治療を行っています。また、神戸大学脳神経外科での臨床治験などにも参加しています。

頭蓋底手術手技を用いた頭蓋底良性腫瘍の全摘出術、下垂体腫瘍に対するHardy手術など、治療困難な症例にも十分対応しています。また、神経内視鏡を用いた脳室内腫瘍の生検術も施行しています。

転移性脳腫瘍などに対するガンマナイフ治療の認識が一般的となってきましたが、当科では神戸にある専門病院を紹介しています。

脊椎、脊髄疾患

脊椎変性疾患、脊髄腫瘍などに対する手術を積極的に行って実績を挙げており、治療成績も良好です。

小児疾患

産婦人科、小児科の基幹病院でもある当院においては、水頭症、髄膜瘤などの小児疾患への対応も必須です。当科では神経内視鏡など、最新の技術を駆使した小児脳外科治療が可能です。

外傷性疾患

外傷性疾患では、緊急手術のみならず、重症例に対する頭蓋内圧モニタリング、バルビツレート治療など救命および機能予後回復へ向けた多面的な治療を行っています。

機能的疾患

三叉神経痛や舌咽神経痛、顔面けいれんに対する脳神経減圧術を行っています。また、脳卒中後の痙性固縮が強い症例に対して末梢神経縮小術を行い、リハビリテーション加療や介護負担の軽減に寄与しています。

脳ドック

当院では頭部MRI検査だけでなく、頸部経頸動脈エコー、頸椎MRI、認知症予防目的の高次脳機能検査を含めた脳ドックを脳神経外科主導で行っており、充実した脳ドックとなっています。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早期 8:30	回診	回診	回診	回診	回診	
午前		手術	血管内治療	手術		回診(当番)
午後	脳血管撮影	手術	血管内治療 脳血管撮影	手術	リハビリ回診 (隔週)	
時間外	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	画像カンファレンス	

※画像カンファレンス内で術前・術後の症例検討あり

4. 指導医・スタッフ

医長 ^{いししい たいじ} 石井 大嗣
出身 三重大学 H16

医長 ^{やまもと ゆうすけ} 山本 祐輔
出身 神戸大学 H19

医長 ^{いけうち ゆうすけ} 池内 佑介
出身 神戸大学 H26

専攻医 ^{しまさき ともや} 嶋崎 智哉
出身 高知大学 H30

神戸大学医学博士 H30

専門	脳神経外科一般、脳血管内治療
認定	日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本DMAT隊員、臨床研修指導医

専門	脳神経外科一般
認定	日本脳神経外科学会専門医

専門	脳神経外科一般
認定	日本脳神経外科学会専門医

専門	脳神経外科一般
----	---------

専攻医 ^{にった なおき} 新田 修幹
出身 島根大学 H31

専門	脳神経外科一般
----	---------

5. 診療設備等

- ・手術用顕微鏡 オリンパス OME-9015-N1-IR
- ・脳血管撮影装置 フリップスジャパン Allura Clarity FD 20/15
- ・ナビゲーションシステム BrainLab Kick ナビゲーション
- ・脳神経内視鏡 オリンパス VISERA 4K

6. 診療実績

手術症例数(2020.1~2020.12)

脳動脈瘤直達手術	27 例	脳腫瘍摘出術	6 例
脳動静脈奇形摘出術	1 例	経鼻経蝶形骨洞手術	2 例
機械的血栓回収術	40 例	急性硬膜外血腫	4 例
頸動脈血栓内膜剥離術	2 例	急性硬膜下血腫	15 例
バイパス手術	2 例	慢性硬膜下血腫	83 例
開頭脳内血腫除去術	5 例	脳血管内手術	105 例
定位的脳内血腫吸引除去術	2 例	その他	23 例
合 計			317 例/年

7. 学会認定施設

当脳神経外科施設は長年の豊富な症例数、治療経験、積極的な学会活動などが評価され、日本脳神経外科学会の専門医研修プログラム連携施設に認定されています。

また当院は、平成 16 年には日本脳卒中学会の脳卒中学会認定研修教育病院にも指定されており、脳神経内科との共同で、今後は病院のシステムとしてストロークユニットの構築も視野に入れ、さらに脳卒中診療に力を入れていく予定です。

専攻医の声

私は神戸大学の医局人事で 2021 年 4 月に着任しました。

当院の特徴としては症例が豊富であることが挙げられます。当院は但馬地区で唯一の救命救急センターとなっており多くの患者様が運ばれます。血管障害を中心とし脳腫瘍、外傷など幅広い症例経験が可能で、脳神経外科専門医取得に向けて豊富で幅広い範囲の手術症例数と、経験豊富な指導医のもと、質の高い研究機会を得ることができています。

今後の低侵襲の代表的な部門になると考えられる血管内治療に関しても豊富な症例を経験することができ、脳血管内治療専門医のもとで脳梗塞の血栓回収術、くも膜下出血のコイル塞栓術など急性期脳卒中治療の経験を多く積むことができます。

また外傷性頭蓋内出血の非手術症例や手術直後の全身管理、救急症例の初療は救急科が対応してくれるため、より脳外科の専門的治療に集中できる環境となっています。

忙しいながらも充実した毎日を過ごすことができ、経験を積むには適した施設であると思います。

専攻医 嶋崎 智哉

